

**トータル** (諏訪市)TDB企業コード：816002751
法人番号：6100001024214**一貫体制への取り組みを強化**

(株)トータル(本社諏訪市、前橋かおり社長)は、ガラスファサードの設計及びガラスファサード用特殊板ガラスや金属等を海外から直輸入し、施工を行う会社である。これまで、オリジナル商品としてTHE GETA80(GETAガラス構法)や、BI-AIR300(防音壁ガラスユニット)などを自社で開発し市場投入してきており、全国各地のインテリジェントビル、教育施設や図書館、音楽ホールなどへの施工実績を上げている。また、今後、職人不足が深刻化することを想定して、ドイツ製のグレージングマシン(大型ガラスを建築施工現場で取り付ける機械)を導入し、施工時の効率性や安全性を高める取り組みも行っており、元請け大手ゼネコンからの信頼も得ている。

さらに、最近では3DCADオペレーターを自社で養成(4名)し、構造解析ソフトも導入したことで、設計事務所や元請け大手ゼネコンとメーカー同等の打ち合わせを行えることで差別化を進めており、今後はガラスファサード設計から建築金物の設計や製作、グレージングマシンを使用した施工まで『一貫体制』への取り組みを強化していく予定である。

(URL: <https://total-facade.com>) まで。**宮田アルマイト工業** (宮田村)TDB企業コード：310012012
法人番号：1100001021397**排水処理設備を増設し一層の生産体制強化へ**

自動車部品などの各種アルマイト処理、カチオン電着塗装、無電解ニッケル処理などを手がける宮田アルマイト工業(株)(本社宮田村、清水光吉社長)では、創業以来アルミニウム表面処理に特化した事業を展開し、得意先ニーズに沿った設備投資も実施しながら事業を拡大してきている。早期から環境や品質への対応も強化し、ISO9001の認証取得をはじめ、全自動処理ラインの導入やバーコード管理による工程削減、不良率低減なども強化している。また、素材調達から表面処理までの一貫した対応や小ロット品から量産品まで一度に大量生産が可能な設備も充実しており、作業の効率化が図られ得意先におけるコスト削減にも寄与できる生産体制が整っている。一方で人手を要する作業に関しても同業他社に比べて豊富な人材が揃っていることなども差別化となり、年間生産量が増加している。

現在は自動車部品や建材のアルマイト処理、電着塗装の受注が増加する状況が続いており、長期的

な生産計画に基づいて排水処理設備を増強させる必要性が高まったことから、3月をめどに24時間稼働の排水処理ラインを増設する。今回の設備投資により生産量が従来の1.3倍に高まることとなり、増加する顧客ニーズに対応できることとなる。また、春先以降に増産となる受注案件も相応に確保できており、一層の事業規模拡大も期待されている。清水社長は「当社が携わる業界の予想として、2027年には点数が現在の2倍となる部品もあり、時流に沿った設備投資を実施しながらどこまで対応できるかが重要となってくる。今後も生産体制を強化しながら増加する得意先ニーズに対応していきたい」と話している。

ボスケソ (佐久市)TDB企業コード：736017954
法人番号：2100001028961**地元発酵食品や地域資源との組み合わせによる新たな商品開発に注力**

チーズ製造やカフェ運営などを手がける(株)ボスケソ(本社佐久市、是本健介社長)は、長野県産の発酵食品や地域資源を活用した新商品開発に注力している。

当社はこれまでに地元酒蔵の蔵付き乳酸菌や佐久市の春日温泉の温泉水を用いたチーズの発売実績を有しており、今後は味噌や醤油などといった他の発酵食品や地元産の農産物とのコラボレーションを積極的に進めていく方針だ。

当社のチーズはこれまでに国内最大級のチーズコンテスト「Japan Cheese Awards」において、金賞及び最優秀部門賞を受賞するなど全国的に高い評価を得ている。近時において国産チーズは、国産ワインや日本酒とともに海外諸国からの注目も集まっており、自社商品の認知度向上や販路拡大を目指す地元企業とのパートナーシップを強化すべく、幅広く問合せを受け付けている。

詳しくは当社(電話：050-1170-2575、URL：bosqueso.official.ec)まで。

コスモ電子 (中野市)TDB企業コード：330237225
法人番号：1100002017907**新規事業として「レーザー彫刻」事業を開始**

プリント基板への電子部品実装や検査業務を手がける(有)コスモ電子(本社中野市、阿部秀夫社長)では、このほど新規事業として「レーザー彫刻」事業を開始した。木や金属、アクリルなどにレーザー光を照射することで、表面を焦がし文字や絵を彫刻することができ、印刷面は立体感のある味わい深い雰囲気となる。加工面は消えにくいことから、名入れなどの需要があるほか、写真データから彫刻加工が行えるため、オリジナルのノベルティなどとしての需要開拓を目指している。

製造業として培ってきたノウハウと、ものづくりへの想いから阿部社長が個人で約3年前にレーザー彫刻機を購入。身近な企業や自社のアニバーサリー記念品製作などで経験を重ねるなかで、市場分析を行ってきた。機械設備の増設にも取り組み、現在レーザー彫刻機を5台保有する。小ロットから量産まで幅広い受注に対応するほか、イベントなどでの出張加工も請け負う意向である。

詳しくは当社(電話：0269-26-2274)まで。